

103系

初期形
1000番台
1200番台

直流通勤型電車

共通組み立て説明書

Bトレインショーティは、Nゲージサイズのミニモデルです。
パーツを交換すればNゲージモデルとして遊ぶことができます。

Nゲージってナニ?

Nゲージとは、鉄道模型の縮尺(スケール)の規格で、ゲージ(軌間:レールとレールの幅)が9mmになっています。9=NineなのでNをとって「Nゲージ」と呼ばれています。(9mmゲージとも言います)車両の縮尺は、多くの日本型車両は1/150、新幹線や外国型車両は1/160になっています。そして、この「Bトレインショーティ」もコレクタブル・トイでありながら、Nゲージの規格に合わせた1/150スケールショーティとなっているので、KATO製品とのパーツ互換性もあり、動力ユニット等との簡単なパーツ交換でNゲージの線路上を走らせることもできます。また、それらのNゲージのパーツを使って、更なるディテールアップや改造も楽しめます。

*Bトレインショーティの最新情報はこちら→<http://B-train.channel.or.jp/>

Nゲージのパーツ交換について

小さなお子様は保護者の方と一緒に加工してください。

Bトレインショーティは、Nゲージのパーツを取り付けることでNゲージの線路上を走行させたり、よりリアルにディテールアップさせたりすることができます。

■動力ユニットの取り付け

■機関車への動力ユニットの取り付け

● KATO製「ポケットライン用動力ユニット」を使用します。このとき、スカートは外してからシャーシと交換・装着します。

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

■電車・気動車への動力ユニットの取り付け

● KATO製「小型車両用動力ユニット」を使用すると、無加工でシャーシと交換・装着ができます。

品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

● KATO製「チビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。

品番11-104 チビ客車用動力ユニット

■トレーラー車への台車取付

● 床板には直接、ピン取り付け方式の各種台車を

取り付けすることができます。

● 旧床板を使用の場合は、床板の取組を右図を参考に切り取ってください。

品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ



通勤電車①
コイルバネ台車タイプ



急行電車①
空気バネ台車タイプ



通勤電車②
ボルスタレス台車タイプ

■パンタグラフの交換

● お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

品番11-401 PS14: 直流パンタグラフ

品番11-403 PS22: 直流下付交差形パンタグラフ

品番11-404, 11-420 PS16: 直流パンタグラフ

● ピン圧入方式の各種パンタグラフを取り付けられます。

● 各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。
● トレーラー台車、パンタグラフなどの交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが
異なる(緩い)ものもありますので、この場合はそれぞれ調整のうえ取り付けください。

注意

保護者の方へ必ずお読みください。

- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 錆取の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取った後のクズは捨ててください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起る場合があります。

〈使用上の注意〉

- 取付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気を付けて組み立ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取り扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取り扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。



〈お買い上げのお客様へ〉

不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

バンダイお客様相談センター

(関東) 柏市豊四季2-41-22

☎277-8511

☎04-7146-0371

(関西) 大阪市北区豊崎4-12-3

☎531-0072

☎06-6375-5050

(中部) 名古屋市昭和区郡部所3-2-5

☎466-0051

☎052-872-0371

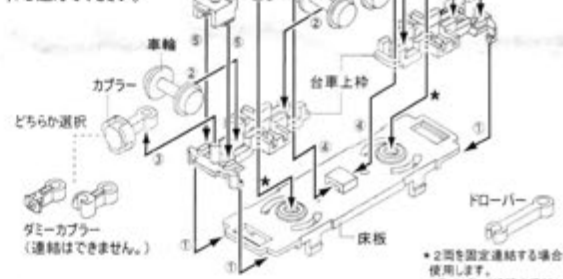
- 電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く)10時～16時
- 電話番号がよく覚えてお間違いのないようご注意ください。

■新シャーシの組み立て

(上下を逆さまにして組み立てると楽です。前後2組の台車をそれぞれ組み立てます。)

- ① 床板に台車上枠を、床板前端の欠き取りを合わせながら取り付けます。
- ② 台車上枠の溝に車輪を配置します。
- ③ 台車上枠にカブラーをセットします。(カブラーのマグネットには極性があります)
* 先頭車の前側にはダミーカブラーを使用してください。
- ④ 台車下枠の後部のツメを台車上枠の穴に通して、さらに床板の溝に差込みます。
- ⑤ 台車下枠のカブラーポケットのツメを台車上枠のツメにバチンとはめ込みます。

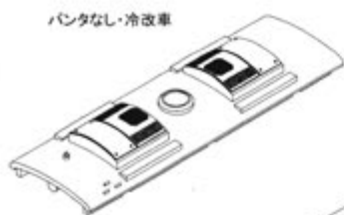
* 台車下枠のセンターピン部を、床板の穴にしっかり押し込んでください。



⑥ 両サイドに台車リーフを取り付けて完成です。



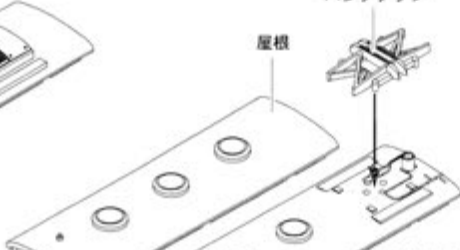
パンタなし・冷改車



パンタグラフ



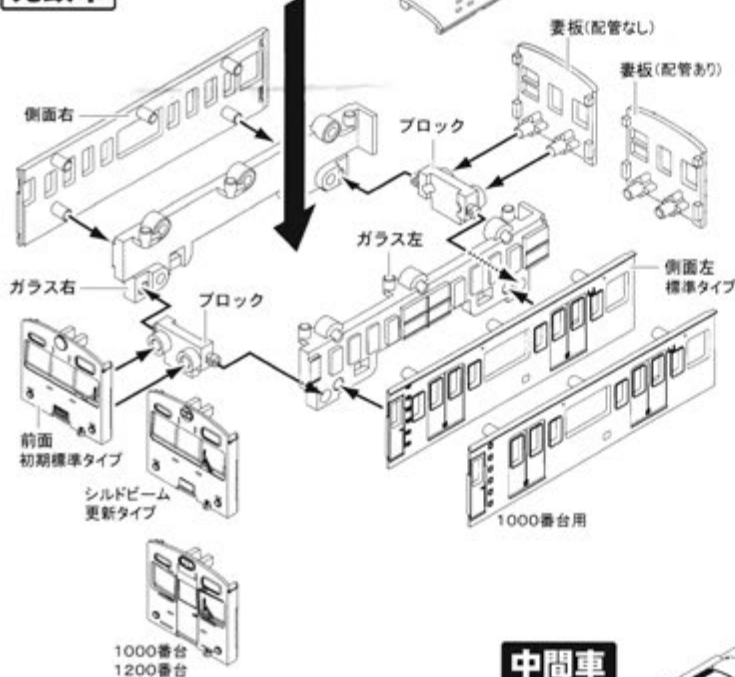
屋根



パンタなし・標準

パンタ車・標準

先頭車



側面右
側面左
ガラス右
ガラス左
ブロック
妻板(配管なし)
妻板(配管あり)

前面
初期標準タイプ
シルドビーム
更新タイプ
1000番台
1200番台

■車体の組み立て

●取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。
*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
*妻板の凸部をきちんとはめ込んでください。
- ⑤先頭車は前面を取り付けます。
- ⑥シャーシのつめに合わせて車体をかぶせて完成です。

屋根パーツは、「103系ATC車」(パート1ほかで発売)の屋根パーツと交換すると、冷房車(集中クーラー)に組み上げることができます。この場合には、パーツの取り付け部の固さは調整しながら取り付けてください。

実車の103系1000番台、1200番台には、パンタ付き先頭車(クモハ103)はありません。

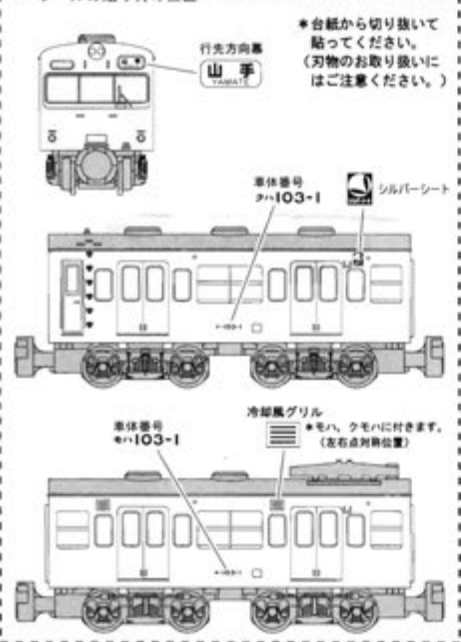
●妻板について



手すりあり (パンタなし中間車・前寄)
配管あり (パンタ車・後寄)
配管なし (パンタなし車・後寄)

●屋根パーツは、標準タイプまたは、冷改車のどちらかがセットされています。

シールの貼り付け位置



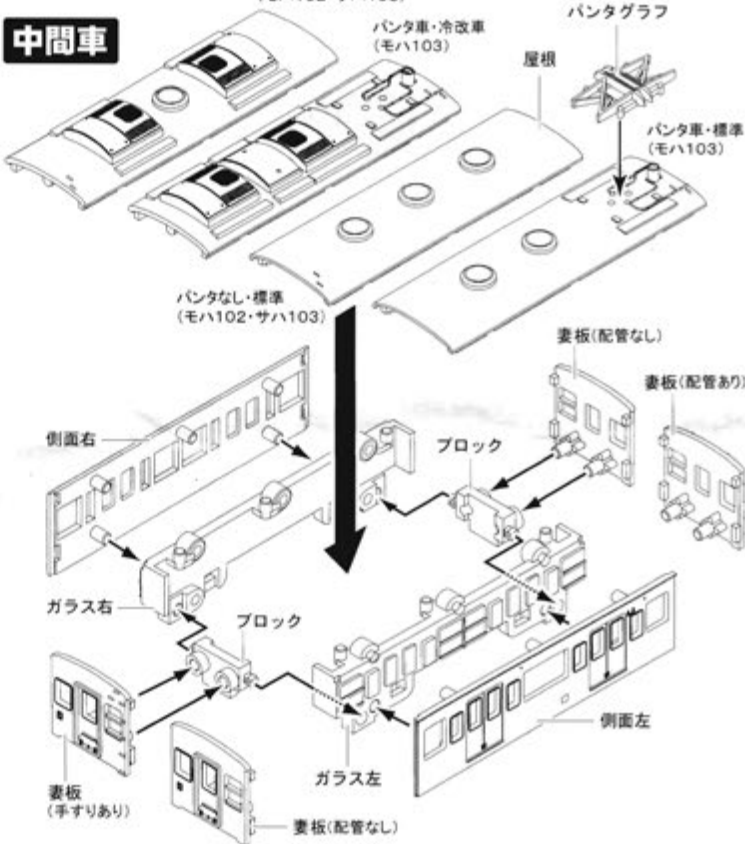
●台紙から切り抜いて貼ってください。(刃物のお取り扱いにはご注意ください。)

車体番号
クハ103-1

冷却風グリル
●モハ、クモハに付きます。
(左右対称位置)

車体番号
モハ103-1

中間車



パンタなし・冷改車
(モハ102・サハ103)

パンタ車・冷改車
(モハ103)

パンタなし・標準
(モハ102・サハ103)

側面右

側面左

妻板(手すりあり)

妻板(配管なし)

妻板(配管あり)

パンタグラフ



パンタ車・標準
(モハ103)

屋根



側面

